



招提中学校だより 5月

VOL.2

5月2日(金)発行

生徒数410名

1. 新年度も早一月が過ぎました。

桜若葉がみずみずしい季節となりました。新年度も早一月が過ぎ、子どもたちは新たな学年での生活を軌道に乗せ、目標に向かってさまざまな取組を進めています。

さて、学習指導要領では、育成をめざす3つの柱「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を身につけるために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善(アクティブラーニングの視点に立った授業改善)の推進が求められています。

今年度、本校では、「子ども一人一人が個性を発揮でき、その良さを認め合い、すべての子どもの学びを保証する学校」、「様々な事情を抱える子どもたちが、分けへだてなく教育を受けることができる学校」をめざし、改めて、協働的な学びと個別最適な学びの両立に取り組んでいるところです。この取組により、子どもたちの学ぶ意欲の向上や新たな課題の発見・解決に向かう姿勢が身につくなどの効果を期待しています。さらには、学びの場や学び方にとらわれないため、ストレスから解放される、多様な学び方を取り入れることで、互いを尊重し認め合う心を醸成することができるなどの効果も期待しています。

常に新しいことが求められる教職員も、子どもたちと同様に、アクティブラーニングの視点に立って日々業務を進めております。真の意味で切磋琢磨、相互支援ができる組織(チーム)になるよう引き続き努力していく所存です。

2. 1年生数学の授業におけるエピソードを紹介します。

4月17日(木)、この日の数学の授業は、一斉での授業の後、それぞれが学び方・学びの場を自分で決めて取り組む時間でした。支援学級在籍の A さんは、学ぶ場として、自教室(交流学級)ではなく、視聴覚教室を選択しました。視聴覚教室では、既にいくつかのグループができており、そのうちの一つのグループの生徒が、「A さん、一緒にやろう!」と声をかけくれましたが、A さんは、一人で学ぶことを選び、支援教育支援員の X 先生とともに課題に取り組みました。A さんは、課題に取り組む中で、分数を小数点にする計算ができ、とてもうれしそうで、それを担当の Y 先生に報告しました。Y 先生は、「すごい!」「よくできたね!」と、A さんを褒め、A さんの表情は笑顔で溢れていました。A さんは、「他の問題も頑張る!」と言って、意欲的に他の問題にも取り組みました。

A さんが味わうことができた達成感や充実感が、A さんの探求心の高まりに変換され、困難な課題にも挑戦する意欲に展開していくことを期待しています。

3. 授業参観、保護者集会を行いました。

4月25日(金)4時限目から6時限目を授業参観とし、多くの保護者の方に子どもたちの様子をご覧いただきました。そして、各学年の保護者集会において、1年生は宿泊学習、2年生は校外学習、3年生は修学旅行と進路について説明させていただきました。新しい学年・クラスになって初めての校外での学習となります。子どもたちが、新しい見方や考え方で友達やクラスを見直して、新しい学年、新しい担任の先生のもと、互いに絆を深めてくれると思います。楽しく、充実した素晴らしい学校行事となるよう事前学習・事後学習にも取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。